

19. 次の経路 C について複素積分 $\int_C z dz$ を計算せよ. いずれの場合も, $z = 0$ が始点, $z = a + bi$ が終点である.

- (1) C_1 : 原点 $z = 0$ と $z = a + bi$ を結ぶ直線 (a, b は実数である. 以下同様).
- (2) C_2 : 原点 $z = 0$ と $z = a + bi$ を結ぶ曲線 $y = bx^2/a^2$. ただし, 複素平面の実軸座標を x , 虚軸座標を y とした.
- (3) C_3 : 原点 $z = 0$, $z = a$, $z = a + bi$ をこの順番で結ぶ折れ線.

20. 前問 19 と同じ設定で複素積分 $\int_C \bar{z} dz$ を計算せよ.

21. C を, 原点 $z = 0$ から出発して, $z = a$, $z = a + bi$ をこの順番で経由して原点 $z = 0$ に戻る直角三角形型の閉じた経路とする. このとき, 次の周回積分を計算せよ (参考: 教科書, 例題 3.17).

$$(1) \oint_C z dz \quad (2) \oint_C \bar{z} dz$$

22. 複素平面上で原点中心, 半径 r の円周をとる. そして, $z = r$ から出発して, 反時計回りにこの円周に沿って $z = r$ に戻る閉じた経路を C とする. このとき, 前問 21 と同じ周回積分を計算せよ (参考: 教科書, 例題 3.17).

23. 前問 22 で $r = 1$ とした経路を C とするとき, 次の周回積分を計算せよ.

$$(1) \oint_C \frac{1}{z} dz \quad (2) \oint_C \frac{1}{z-2} dz$$

24. 経路 $C: z(t) (t: t_1 \rightarrow t_2)$ に沿う複素積分 $\int_C f(z) dz$ を考える (参考: 教科書, 命題 3.14).

- (1) 経路 C 上で $|f(z(t))| \leq M$ (M は正の定数) がつねに成り立つとき,

$$\left| \int_C f(z) dz \right| \leq ML$$

を証明せよ. ただし L は経路 C の長さである:

$$L = \int_{t_1}^{t_2} \sqrt{\left(\frac{dx(t)}{dt}\right)^2 + \left(\frac{dy(t)}{dt}\right)^2} dt$$

- (2) C を問題 22 の円周, $f(z) = 1/(z^2 + a^2)$ (ただし $a < r$) とするとき, 次の不等式を証明せよ.

$$\left| \oint_C f(z) dz \right| \leq \frac{2\pi r}{r^2 - a^2}$$